

科目名	履修学年	単位数	教科書	副教材等
物理基礎	2	2	物理基礎 (数研出版)	ニューグローバル物理＋物理基礎 (東京書籍)

評価の観点	到達目標および評価の内容
a 知識・技能	日常生活や社会との関連を図りながら、物体の運動と様々なエネルギーについて理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。
b 思考・判断・表現	観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。
c 主体的に学習に取り組む態度	物理的な事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。
評価の方法	
各定期考査、単元テスト、課題等の提出状況、学習活動への取組などの総合評価となります。	

年間指導計画											
前期						後期					
月	予定 時数	学習内容	評価の観点			月	予定 時数	学習内容	評価の観点		
			a	b	c				a	b	c
4	6	第1編 運動とエネルギー 第1章 運動の表し方		○	○	11	8	第2章 音		○	○
5	10	第2章 運動の法則	○	○		12		【後期中間考査】			
6	10	【前期中間考査】 第3章 仕事と力学的エネルギー	○		○	1	9	第4編 電気 第1章 物質と電気		○	○
7						2	8	第2章 磁場と交流	○	○	
8	3	第2編 熱 第1章 熱とエネルギー	○		○	3	4	第5編 物理学と社会 第1章 エネルギーの利用 【学年末考査】			○
9	8	第3編 波 第1章 波の性質 【前期末考査】	○	○		4	4	第2章 物理学が拓く世界			
10											
計 70											

※原則として一つの単元ですべての観点について評価するが、特に重点的に評価を行う観点について○をつけている。

履修上および学習上の留意事項

- ・教科書、副教材等は毎回持参し、身だしなみを整え、状況に応じた態度で授業を受けること。
- ・授業は基本的に HR 教室で行う。特別教室で実施する場合には、事前に指示をする。
- ・積極的に問題演習に取り組むこと。特に、授業で扱った問題に関しては、繰り返し復習することが大切です。
- ・一部、発展的内容として3年生で開講される物理の内容を扱います。